



JR東労組 八王子地本

FAX HACHIOJI



ホームページ

発行責任者

本部派遣代表 佐藤英樹

2020/9/2 No.56

「設備関係総務業務の体制見直し」について 提案を受ける！！

◆体制見直しに至った根拠

・出務表の管理や旅費に関わるチェック体制等が必要なくなったこと。各システムが社員へ定着していきいている。各技セの総務業務が同一化しており、集約して効率的に進めていくことが可能と判断した。

◆実施箇所について

三鷹保線技術センター、八王子保線技術センター、大月保線技術センター、甲府保線技術センター、八王子土木技術センター、八王子建築技術センター、八王子機械技術センター、八王子電力技術センター、八王子信号通信技術センター

◆実施内容

- (1)設備技術センターの事務業務を設備部企画課(八王子総合事務所内)に集約する。
- (2)技術センターの部外協議業務を設備部企画課へ統合する。

◇提案時に議論した内容

各技術センターの総務業務を、設備サポートセンター(仮称)を新設し、業務を集約し効率化と生産性向上を図る。現場への巡回等も実施し、現場をフォローしていく。

メリット⇒職場毎の業務の整理とルールの一統化ができる。業務知識の共有化がしやすくなる。

デメリット⇒雑務(榊、お茶代など)は現場でやらざるを得ない。三鷹、大月、甲府の保線技術センターには足ロスが発生する。

⇒契約業務、契約図書扱いについて

各技セとパートナー会社でのやり取りから、設備サポートセンター(仮称)を経由したやり取りになる。業務フローは現在作成中。

⇒近接協議の取り扱い

設備部企画課 設計協議 G に統合する。

⇒現金会計業務

現場の小口現金は設備サポートセンター(仮称)に引き上げる。各技セへカード(検討中)を配布し、現金が必要なものだけ、現場立案し、処理は設備部サポートセンター(仮称)で行う。伺い決裁は所長。業務フローは現在作成中。

⇒設備サポートセンター(仮称)の規模

事務社員の現行人数を確保する考え。異動は任用の基準で行う。

総務業務は現場を支える重要な業務！

職場で働く仲間の声で施策を創り出していきます！